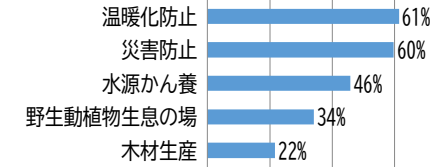


北海道森林づくり基本計画の概要

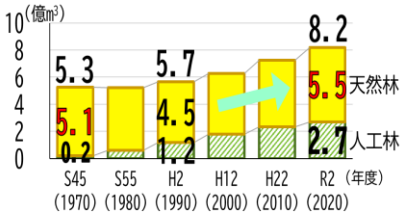
森林づくりを取り巻く情勢と直面する課題

◆本道の森林と期待される役割 (R3道民意識調査)



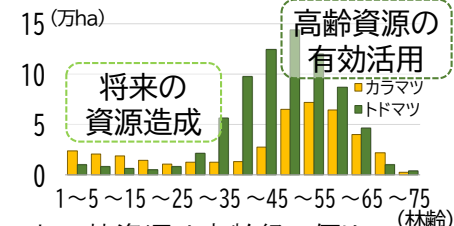
・温暖化防止等の機能に大きな期待
⇒公益的機能の発揮に配慮した森林づくりが必要

◆森林資源の状況 (蓄積の推移)



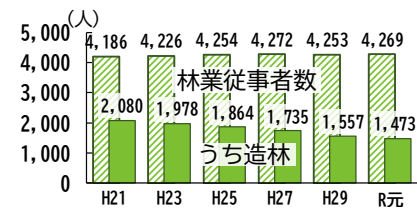
・人工林:増加、天然林:回復傾向
⇒長期的視点での人工林の管理、天然林の育成・有効活用が必要

◆人工林資源の林齢構成



・人工林資源は高齢級に偏り
⇒森林の若返りと木材利用の一体的な推進が必要

◆林業従事者の状況



・林業従事者数は横ばい。造林は減少
⇒造林などの人材確保や森林施業の効率化が必要

◆森林を巡る社会情勢の変化 (ゼロカーボン、SDGs)

・環境保全やCO₂排出削減に対する企業等の関心の高まり
⇒企業など多様な主体と連携した森林づくりが必要



計画の目標

計画期間 令和4~13年度(10年間)

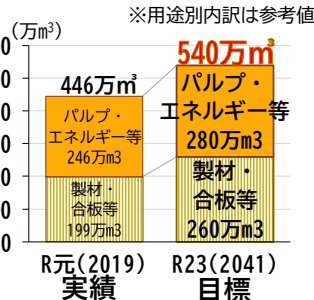
長期的な目標(20年後に向けた数値目標)

◎針広混交林などの育成複層林
76.2万ha→95.3万ha

◎道産木材の利用量
446万m³→540万m³

◎木育に取り組んでいる
道民の割合 36%→80%

道産木材の利用量



7つの「重点的な取組」を核とした施策の展開

森林資源の循環利用の推進

1 ゼロカーボン北海道の実現に向けた活力ある森林づくり

- ・コンテナ苗などを活用した低コストな植林
- ・成長の早いクリーンラーチ苗木の増産 等



2 広葉樹資源の育成・有効活用

- ・人工林の針広混交林化や広葉樹天然林の育成
- ・日用品・家具など様々な用途での使用事例の効果的なPR 等



3 道産トドマツ建築材の安定供給体制の強化

- ・関係団体等と連携した原木の安定供給
- ・乾燥施設等の整備支援
- ・プレカット工場等と製材工場の需給マッチング支援 等



4 森林づくりを担う「人材」の確保

- ・造林作業の軽労化
- ・SNSなどを活用した林業の魅力発信
- ・北森カレッジでの実践的な教育 等



5 スマート林業による効率的な施業の推進

- ・下刈り等の機械化の実証・普及
- ・リモコン式造林機械の実証
- ・ICTハブスタによる効率的な原木供給体制の実証・普及 等



6 HOKKAIDO WOODブランドの浸透などによる道産木材の需要拡大

- ・多様なツールを活用した魅力発信によるブランド力の強化
- ・建築物や土木など様々な分野での需要拡大 等



木育の推進

7 木育マイスターや企業などによる木育活動の推進

- ・環境保全に関心のある企業等に対する森林づくりへの参加やイベント開催などの積極的な働きかけ
- ・多様な木育活動をコーディネートする木育マイスターの育成 等

